

富士市立中央病院 病院だより

第 36 号

発行：平成29年4月20日

〒417-8567 富士市高島町50
電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
http://www2.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/
お問い合わせ：病院経営課（内線2221・2222）

Fuji City General Hospital

院長就任のあいさつ



院長 柏木 秀幸

【略歴】

昭和53年 東京慈恵会医科大学卒業
平成17年 同附属病院
消化管外科診療部長
平成20年 同外科学講座教授
平成24年 富士市立中央病院副院長

平成29年4月1日、富士市立中央病院院長に就任いたしました。就任にあたり、市民の皆様にご挨拶と院長としての抱負の一端を申し上げます。

私は、大学院終了後の昭和57年に半年間ではありましたが、本市場にあった富士市立中央病院（当時、総合病院市立富士中央病院）に勤務いたしました。その後、当院が本市場から高島町に移転する昭和59年、再び勤務することとなり、新築の病院は懐かしい思い出となっています。昭和60年から大学病院や英国留学を経て、平成24年、28年ぶりに副院長として当院に勤務することになりました。この度、私の外科医としての原点でもある当院の院長職を富士市長から拝命されたことは、重責に身の引き締まる思いではありますが、同時に感慨を覚えます。

私の専門領域である外科、特に消化管の外科治療に関しては、内視鏡手術の登場により、この20年間で大きな革新が行われつつあります。内視鏡治療だけでなく医療の進歩は加速度的となっており、薬剤の進歩を含め、医学・医療全体が大きく変革してい

ます。さらに、専門医制度や医療制度の改革の波もあり、病院は柔軟な対応が求められています。

こうした環境の中で、地域の基幹病院である当院には3つの使命があると考えます。

1. 救急医療の維持

特に、二次救急医療体制をしっかりと維持し、災害時には災害拠点病院として迅速に救命医療を行う体制を整えたいと考えております。

2. 高度医療の提供

急性期を担う総合病院としての特性を活かし、がん診療や周産期医療などの充実を図るとともに、カテーテル治療などの新しい治療にも積極的に取り組んでまいります。

3. 地域連携の推進

これからの医療は、広く地域全体の医療と介護の連携を考慮した対応が求められています。地域の基幹病院として、地域連携の中核となり、他医療機関や施設との連携を強力に推進していきたいと考えております。

この使命を全うするために当院は患者さん本位の医療を実践し、急速に変化する医療に対する適応能力、ならびに個々の事態に対する問題解決能力を有する次代の医療人の育成に力を注ぎ、将来にわたり安心・安全な医療を提供してまいりたいと思っております。

富士市立中央病院が市民の皆様のご期待に応えられるよう職員とともに努めてまいります。

もくじ

- ・院長就任のあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・富士市立中央病院新改革プランを策定しました・・・・・・ 2
- ・外来日程表 ・医師の人事異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・各科紹介～外科～ ・患者さんを支える専門職「歯科衛生士」・・・・ 4
- ・助産師修学資金貸与希望者募集 ・院内ギャラリー展示申込み受付・・・・ 5
- ・看護の日記念イベント ・第16回市民公開講座・・・・・・・・・・・・ 5



院内ギャラリーの様子

富士市立中央病院 新改革プランを策定しました!

平成19年度以降、全国の公立病院において経営改革が進められ、黒字の病院は3割から5割に増加しています。しかし、依然として、医師不足等の厳しい環境が続き、人口減少や少子高齢化が急速に進展する中で医療需要が大きく変化することが見込まれています。こうした状況から、全国の公立病院では、地域ごとに適切な医療提供体制の再構築に取り組むため、新公立病院改革プランを策定しています。

当院においても、平成28年度に策定の準備を進め、平成29年3月に富士市立中央病院 新改革プランを策定しました。

策定の目的

公立、民営医療機関が適切に役割を分担し、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、その中で富士市立中央病院が救急医療など採算をとることが難しい医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を安定した経営の下で継続的に担っていくことを目的としています。

策定の方法

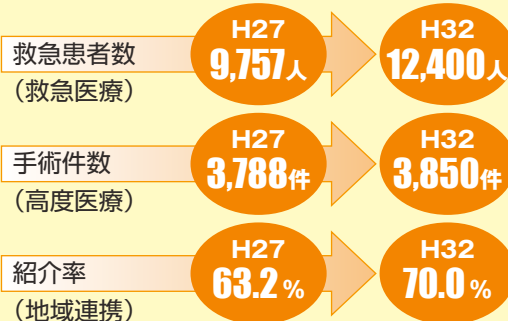
静岡県地域医療構想（平成28年3月に静岡県が策定した地域の将来の医療提供体制に関する構想）を踏まえた当院の役割と、地域包括ケアシステム構築に向けて果たすべき当院の役割を勘案し、院内医療スタッフ12名で構成される経営改革推進委員会において、プラン案を作成しました。その後、外部有識者7名で構成される富士市立中央病院経営懇話会において意見を聴取し、富士市立中央病院 新改革プランを策定しました。

内容・目標値

※一部を抜粋したものです。詳細は当院ウェブサイトをご覧ください。

I 当院の役割

- 24時間365日、救急患者を受け入れる。
- 高度急性期と急性期医療を担う。
- 他医療機関との連携を推進する。

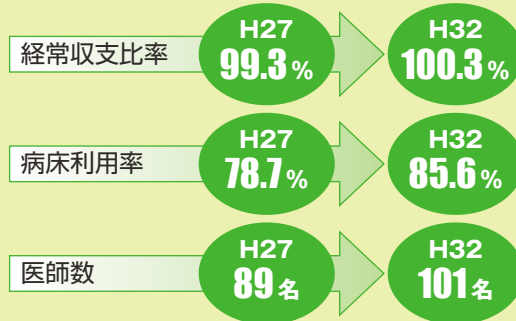


III 再編・ネットワーク化

富士保健医療圏における公立病院間での経営主体の統合や一体的な経営を図るにはまだ課題が多いため、当院は高度急性期・急性期の機能を持つ病院としての診療を担い、当面は、回復期・慢性期病院との連携強化に努めていく。

II 経営の効率化

- 原価計算システムを活用した経営分析を行う。
- 後発医薬品の採用を推進する。
- ESCO事業により、光熱水費を削減する。



IV 経営形態の見直し

現状の地方公営企業法の一部適用（財務規定のみを適用）による形態で、一定の成果が得られているため、この形態を維持し、経営の健全化に取り組む。

富士市立中央病院外来日程表

受付時間：午前8時～11時

平成29年4月1日現在

診療科	《部長名》		月	火	水	木	金	(備考)
内科	初診	増田	高村	伊藤晶	遠藤	石見		谷口医師は午後予約のみ 月曜日の辻野医師は午前、比企医師は午後 火曜日の須藤医師は午前、石澤医師は午後
(血液内科)《藤井常宏》		高津	青木	桐生	嵯峨崎	庄司		
(糖尿病・内分泌内科)《辻野大助》		藤井		谷口	藤井	山城		
(呼吸器内科)《木村哲夫》		辻野/比企	須藤/石澤	辻野	須藤	辻野		
(腎臓内科)《笠井健司》		木村	木村	木村	木村	橋本		
(消化器内科)《佐伯千里》		高橋	笠井	高村	高橋	笠井		
(神経内科)《河野優》		佐伯	伊藤公	鳥巢	中野	佐伯		
精神神経科	《外岡雄二》	河野	森田	河野	河野	河野		《初診は完全紹介状制》
循環器科	初診	外岡		外岡	外岡			木曜の長谷川医師は奇数週、木下医師は偶数週 火曜の初診受付は午前10時まで
(循環器内科)《阪本宏志》		阪本	阪本		長谷川/木下	山田		
(心臓血管外科)《織井恒安》		三川	三川	三川	三川	三川		
小児科		木下		木ノ内	山田	阪本		
		織井						
外科	初診	千葉		千葉				初診担当医師は変更する事があります 木曜の森川医師は偶数週の午後2時～4時 ※はヘルニア外来(午後のみ) 木曜の神尾医師は3週
(乳腺疾患)女性専用の外来		松岡	鈴木貴	松岡	松岡	鈴木貴		
		鈴木亮	秋山	鈴木亮	秋山	秋山		
		谷田部	小林	道鉢	坪井	市原		
		坪井	吉田	梶本	石川	良元		
		市原	道鉢	谷田部	阿部	道鉢		
		小林	良元	柏木	森川	柏木		
						(交代制)※		
		梶本			神尾			
整形外科	《加藤努》	山口	永井		永井	山口		《初診は完全紹介状制》
		船井	嶺		嶺	船井		水曜は初診のみ(紹介状制)
		村上	加藤	(交代制)	村上	加藤		水曜の診察は午前9時半から
脳神経外科	《諸岡暁》		廣津/坂本		武井			水曜は初診のみ
		野田	諸岡	(交代制)	野田	諸岡		火曜の諸岡医師、木曜の野田医師は再診のみ
形成外科		平川	平川	平川	(休診)	西村		《初診は完全紹介状制》
		西村	西村	仲		仲		
泌尿器科	《後藤博一》	後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤		
		下村	倉内			下村		
(排尿障害)女性専用の外来					平本			受付は午後1時～2時
産婦人科	初診	東堂/鈴木崇	長谷川	鈴木康	矢田	松木		《婦人科初診は完全紹介状制》
	婦人科再診	矢田	松木	鈴木崇	小田	鈴木康		月曜の東堂医師は奇数週、鈴木崇医師は偶数週
	妊婦健診	松木	東堂	鈴木康	鈴木康	長谷川		
(不妊症)		鈴木康	長谷川	鈴木康	長谷川	鈴木康		受付は午前8時～9時
(婦人科疾患)女性専用の外来			廣中			金山/小田		受付は午後1時～2時
眼科	《藤谷暢子》	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷		木曜は紹介状初診及び予約のみ
		渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺		木曜の渡辺医師は4週のみ
耳鼻咽喉科	《重田泰史》	黒田	(交代制)	黒田	内尾	(交代制)		火曜・金曜は初診のみ
		重田		内尾	重田			
		内尾		重田	黒田			
皮膚科	《津嶋友央》	津嶋	津嶋	津嶋/森	津嶋	津嶋		水曜の津嶋医師は奇数週、森医師は偶数週
		森	森		森	森		
放射線科		道本	道本	道本	道本	道本		《初診は完全紹介状制、完全予約制》
				青木		小宮山		←治療外来
歯科口腔外科	《勝山直彦》	勝山	勝山	勝山	勝山	勝山		
		井出	井出	井出	井出	井出		
		久我	久我	久我	久我	久我		
		岡村	小林/阿部		磯田/児玉/岡山			
緩和ケア外来			梶本					梶本医師は奇数週のみ《初診は完全紹介予約制》

※都合により、内容が変更になることがあります。※女性専用の外来を担当する女性医師は、赤字で表示しています。

●医師の人事異動について

退任日：平成29年1月31日 就任日：平成29年2月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
消化器内科	中野 真範	伊藤 公博
形成外科	—	西村 礼司

退任日：平成29年3月31日 就任日：平成29年4月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
泌尿器科	小野寺 昭一	—
糖尿病・内分泌・血液内科	石澤 将	辻野 大助
	瀧 謙太郎	—
	伊藤 勇太	石見 公瑠美
	大村 有加	須藤 英訓
	本澤 聖聖	湊 聡一郎
	小林 賢司	橋本 典生
呼吸器内科	佐々木 諒子	伊藤 晶彦

退任日：平成29年3月31日 就任日：平成29年4月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
腎臓内科	—	高津 宏樹
	山本 和佳	増田 直仁
	小松崎 陽	嵯峨崎 誠
消化器内科	鳥巢 勇一	佐伯 千里
	秋田 義博	青木 祐磨
	木下 勇次	桐生 幸苗
循環器内科	銭谷 大	長谷川 潤
	野村 充希	時田 憲太朗
心臓血管外科	—	木ノ内 勝士
小児科	日馬 由貴	松岡 諒
	伊藤 研	岡井 真史
	古河 賢太郎	白坂 和美

退任日：平成29年3月31日 就任日：平成29年4月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
脳神経外科	吉野 薫	廣津 竜也
形成外科	赤石 渉	仲 謙
産婦人科	榛葉 頼子	小田 彩子
耳鼻咽喉科	—	高津 南美子
皮膚科	栗原 和生	森 ナオミ
放射線科	松井 洋	道本 顕吉
歯科口腔外科	本間 彰人	久我 憲央
研修医	坊 英明	大原 佑生
	—	吉田 和博

各科紹介 ～外科～

様々な疾患の手術・治療を担います。

外科は、医師11名により診療を行っています。外来は4～5名の医師で診療にあたり、救急医療および緊急手術には24時間対応しています。

対象とする疾患は多様で、消化器疾患が最も多く、次いで乳腺疾患、呼吸器疾患です。その他に、多くのがん患者さんを診療しています。がん診療については、手術以外に、化学療法（抗がん剤治療）や放射線療法、そして緩和ケアに深く関わっています。

平成28年1～12月の外科手術件数は796件でした。全国的に、鏡視下手術（お腹や胸に数か所穴を空けて内視鏡を入れ、モニターを見ながら行う手術）の占める割合が高くなる傾向にあり、当院でも約35%を占めています。鏡視下手術を行う疾患は、食道がん、胃がん、大腸がん、ヘルニア、胆石症、肺がんなど多岐にわたります。

また、東海地方では当院だけが行っている手術と

して、肥満を原因とする様々な合併症を持った高度な肥満患者さんに対して行う^{ふくろうきょうけ}腹腔鏡下スリーブ胃切除術があります。いわゆる胃を細くする手術です。平成27年10月に1例目を行い、現在まで実績は30例に達し、良好な治療結果が得られています。

今後も、地域の皆様から信頼を寄せいただけるよう、^{けんざん}研鑽を積んでいきたいと考えています。



鏡視下によるスリーブ胃切除術を行う道舩隆行副部長(写真中央)

患者さんを支える専門職 歯科衛生士



口の中の状況が、病気の治療や合併症の発症に影響していることをご存知でしょうか。

口腔機能（^{こうくう}噛み砕き・飲み込み・発音・唾液の分泌など）が低下すると、十分な栄養がとりにくくなり体力と免疫力が低下し、病気の治癒が遅れることがあります。また、口腔内が不衛生になると、^{こえん}誤嚥性肺炎や、口腔内の細菌が血液に入ることによっておこる感染症のリスクが高まります。

当院には手術を受けたり、化学療法や放射線療法を受けたりする患者さんも多く、こうした患者さんは特に免疫力が低下するため、口腔機能を保ち口腔内を清潔にしておくことが重要です。

病気の治療が順調に進むよう、私たちは口腔ケア（※）を行い、患者さんをサポートしています。



回復に向けて、患者さんと一緒にがんばります!



病棟では
口腔ケアを行います。

**歯科口腔外科
外来では**
歯科診療の補助
や口腔ケアを行います。



※口腔ケアでは、歯磨きのお手伝いや指導、歯石除去、うがいができない方に対する口腔内洗浄やスポンジブラシを用いた粘膜清掃を行います。



お知らせ



【助産師修学資金貸与の希望者を募集しています!】

中央病院に助産師として勤務する意思のある方に、助産師修学資金を貸与します。

- 対 象** 次の項目に全て該当する方
- 助産師養成所等に在学中の方
 - 助産師として中央病院に勤務する意思を有する方
 - 他の奨学資金の貸与を受けていない方、または受ける予定がない方
- ※他の奨学資金の貸与については、例外があります。事前にご相談ください。



- 貸 与 額** 月額10万円（無利息）
- 貸与期間** 養成所等ごとに定められた正規の修学期間（助産に関する学科の修学期間）
- 返還免除** 中央病院で助産師として勤務した期間が貸与相当期間の2倍となった場合
- 募集人数** 3名 ※申込者多数の場合は、選考を行います。
- 申込期限** 平成29年5月19日（金）
※募集人数に達しない場合は、随時、受け付けます。
- 申 込 先** 病院総務課人事担当
※詳細は、当院ウェブサイトをご覧ください。



病院総務課 内線2217

【院内ギャラリー展示申込みについて】

平成29年10月から平成30年3月までの展示分について、下記のとおり申し込みを受け付けます。

- 受 付 日** 平成29年6月30日（金） 午前9時から午前9時30分まで
※希望者多数の場合は、午前9時30分から月ごとに抽選を行います。
- 場 所** 2階 大会議室
- 持 ち 物** 院内ギャラリー展示申込書
※募集要項及び申込書は当院ウェブサイトでご確認ください。



病院経営課 内線2222

看護の日記念イベント

「看護の日」は、看護の心、ケアの心を広く国民が分かち合うことを目的に、近代看護の基礎を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。当院では、今年もエントランスホールにて血圧測定、看護・療養・介護の相談、糖尿病や食生活についてのパンフレットの配布を行います。ご来院の際は、お気軽にお立ち寄りください。

日 時 平成29年5月12日（金）
9:00から11:00まで

場 所 中央病院1階エントランスホール

看護部

第16回市民公開講座

脳・神経の病気や治療について、わかりやすく解説します。

日 時 平成29年6月23日（金）
18:30開場 19:00開演

場 所 中央病院 2階大会議室

講 師 河野 優（神経内科部長）
武井 淳（脳神経外科医員）

定 員 100名（先着順）

入 場 料 無料

申し込み 5月22日（月）より電話受付を開始します。（平日8:30～17:00）

病院総務課 内線2216

総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～

●看護相談・がん相談・よろず相談 内線2046

患者さんご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。

●医療福祉相談(健診含む) 内線2918

患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。

月曜日～金曜日 8:30～16:00 地域連携室内(1階正面玄関入って右側)

その他の病院内の相談は…

●お薬相談 お薬相談室(1階お薬渡し口隣り)

月曜日～金曜日 8:30～17:00

お問い合わせ: 薬剤科 内線2126

●栄養相談 栄養相談室(2階循環器内科外来隣り)

月曜日～金曜日 ※予約制です。

お問い合わせ: 栄養科 内線2146

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明 中央検査相談室(2階)

月曜日～金曜日 8:30～17:00

お問い合わせ: 臨床検査科 内線2267

●フットケア相談(糖尿病患者さんの足のケア) 内科外来(2階)

第2・第4水・木曜日 13:30～15:30

お問い合わせ: 内科外来 内線2285

●医療放射線被ばく相談 中央放射線科(1階)

火・木曜日 ※予約制です。

お問い合わせ: 中央放射線科 内線2153

●医療安全相談 医療安全相談室(2階内科外来奥)

月曜日～金曜日 8:30～16:00

お問い合わせ: 医療安全対策室 内線2259

各種教室の紹介

患者さんご家族を対象とした教室を開催していますので、お気軽にご参加ください。開催日・講義内容についてはお問い合わせください。各教室の開催場所は、いずれも2階大会議室です。

●腎臓病教室 お問い合わせ: 栄養科 内線2146

日時: 毎月第3火曜日 15:00～16:00

第41期腎臓病教室スケジュール

5/16、6/20、7/18、8/15、9/19、10/17

●ファミリークラス(バースクラス・ペアクラス)

お問い合わせ: 産婦人科外来 内線2059

日時: 毎月3回 13:00～15:00

〈富士市立中央病院の理念〉

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

〈富士市立中央病院職員宣言〉

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

〈平成29年度病院指針〉

「急性期医療の充実と連携強化で地域に信頼される病院」

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で54メニュー、全て無料です。ぜひご利用ください。

●詳細は当院ウェブサイトまで

お問い合わせ: 病院経営課 内線2222

従来の機種と同等出力で 小型・軽量化に成功!

(高出力補聴器『HB-P1』)

体積

約25%
ダウン

重量

約20%
ダウン



より快適な両耳用低価格モデル
『リオネットウィー』も新発売!

任せて安心! 認定補聴器技能者在籍

あなたのまちの補聴器屋さん

富士宮補聴器センター
富士宮市錦町 イオンSC富士宮東側
TEL・FAX 0544-27-5629

営業時間
9:00～18:00
第3日曜定休
駐車場あり

リオネットセンター富士
富士市石坂 大淵街道沿い
TEL・FAX 0545-53-2365

営業時間
9:00～17:00
日・祝日定休
駐車場あり

お弁当のご注文承ります

5,500円以上のご注文で富士・富士宮市内へ配達いたします。



カルピ弁当 | 1,500円(税別)



ハーフ&ハーフ弁当[牛豚] | 980円(税別)

焼肉飯店
京昌園
KEISHOEN

☎0120-08-2989
個室・席・宴会のご予約受付中
4名様より無料送迎バス承ります。

全店年中無休
別館/はなれ/富士みなみ店/富士宮店
www.k-shoen.com

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。

お問い合わせ: 病院経営課 内線2221・2222